

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究の対象となる当事者及びそのご遺族だと思われる方で、研究対象となることを望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。当事者であることが確認され次第、直ちに研究対象から除外させていただきます。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。また、本研究により得られた個人情報には本研究の目的以外では使用せず、研究成果の発表を行う際には個人が特定されないよう配慮いたします。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や、個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 国府台陸軍病院診療録を用いた戦争の心理的・社会的影響及び戦時精神医療に関する研究

【研究責任者】 鈴木晃仁 (慶應義塾大学経済学部教授)

【本研究の目的及び意義】

本研究では、戦時精神医療の中核を担っていた国府台陸軍病院の診療録を利用し、戦争の心理的・社会的影響や戦時精神医療の実態を明らかにすることを目的としています。この研究により、戦争という非常時の状況が人間の精神及び社会に及ぼした影響が明らかになる意義があると考えられます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

・1938年2月4日より1945年11月30日(旧陸軍省の解体日)までの間に、国府台陸軍病院精神科に入院された方

利用する試料・情報等

診療録記載の以下の情報：氏名、入退院日、生年月日、診断・治療・看護・傷病恩給裁定の記録、既往歴、入隊前の職業、転帰、居住地、家族・配偶者の有無、軍事扶助適用の有無、家族との通信・面談の記録

研究期間

2018年11月1日より2023年3月31日まで

【研究機関】

慶應義塾大学経済学部

研究代表者 鈴木晃仁

【資料提供機関】

国立国際医療研究センター国府台病院

情報提供責任者 杉山温人 院長

国立病院機構下総精神医療センター

情報提供責任者 女屋光基 院長

2018年11月

○問い合わせ窓口

中村江里 (慶應義塾大学経済学部訪問研究員 (日本学術振興会))

メールアドレス：enakamura※keio.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

慶應義塾の研究活動に関する申し立て窓口

① (郵送による場合) 108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾 総務部内

「研究費不正、研究不正に関する申し立て窓口」係 宛

② (web による場合) <https://wwwdc01.adst.keio.ac.jp/kj/somu/kenkyufusei/index.html>